

農技セ第6507号
平成28年6月17日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成28年度技術情報について

平成28年度技術情報第1号を発表したので送付します。

平成28年度技術情報第1号

平成28年6月17日
徳島県

昨年7月に板野郡板野町のハウスモモ園において発生を確認したクビアカツヤカミキリ (*Aromia bungii*) の発生状況を同園で6月7日より調査したところ、多数の成虫を確認しました。今後、露地園においても成虫の発生が予想されますので、適切な防除指導をお願いします。

農作物名 モモ、ウメ、スモモ

病虫害名 クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii*

1. 発生地域 板野郡板野町と鳴門市大麻町

2. 発生状況

板野町吹田のハウスモモ1園地において、6月8日～6月16日までの間に成虫56頭を確認した(図1, 写真1, 2)。

3. 防除対策

昨年、フラス(木屑と糞の混じったもの)が発生した樹では今後成虫が羽化し、分散する恐れがあることから以下の処置を施す。

- 1) フラス発生孔のある樹幹部にネット(目合い5 mm程度)等の被覆資材を巻き付けていない場合は、早急に巻き付ける。この際、樹と被覆資材の間が密着していると成虫がみ切る恐れがある(写真3)ので、ある程度の余裕を持たせるように十分注意する。
- 2) 園内の樹(特に、樹幹下)や巻き付けたネット内における成虫の発生を定期的に観察する。成虫をネット内で確認した場合には速やかにハンマー等で殺す。ネットの外で確認した場合には、捕殺する。捕獲する際、刺激臭を放つ場合があるので、必ず手袋を着用する。

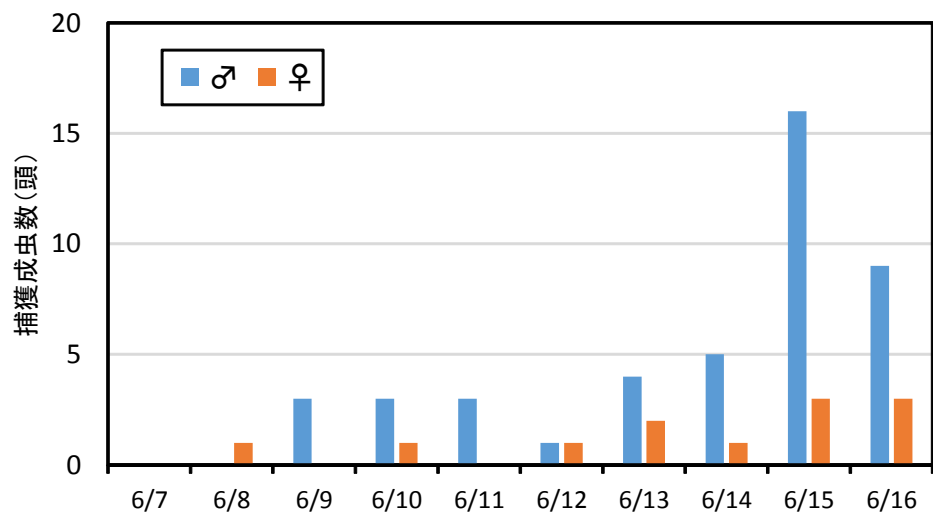


図1 ハウスモモ園における成虫の発生状況



写真1 ネット内で羽化した成虫



写真2 ネット外で羽化し、交尾中の成虫



写真3 密着したネットをかみ切る成虫